



◎南米親善訪問してきました

7月18日より3泊7日の日程で「ブラジル移民110周年記念事業」に副知事とともに県議会代表（議長他5名）として親善訪問してきました。眞子内親王も式典には出席され、日本でも大々的に報道されたと聞いています。

最初の訪問地アルゼンチンでは県人会の方が経営する園芸店を視察。この方は海外技術研修員として1975年に来崎し研修を受け80年より店を開設。その後、在アルゼンチン日本国大使より最近のアルゼンチン情勢についてのレクチャーで、**豊富な食料資源と鉱物エネルギーの生産国**としてのポテンシャルの高さから世界から熱い視線を受け、日本企業も15年51社が17年に100社と倍増し、安倍総理も16年に総理として57年ぶりに訪亜され、戦略的パートナーシップの確立のもと経済交流を促進していることがわかりました。このこと一つとっても報道されませんが「国益」という視点から安倍政権は地道に取り組んでいると思われまます。◆アルゼンチン県人会 86家族（324人）

【長崎県海外技術研修員受け入れ事業】

本県と密接な関係がある国から前途有為な青年を受入れ、本県の経済・社会・文化も学ぶとともに県民との交流を通じ派遣国と本県の友好親善を促進、及び必要な技術の習得により派遣国の発展に寄与する（以下実績）

（単位：のべ人数）

年度別 国別	昭和											平成												
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	
ブラジル	1	3	2	2	3	3	3	3	2	2	2	1	2	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	
ポリビア	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
パラグアイ		1	1	1	1			1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		
アルゼンチン		1	1				1		1															
中国								2	2	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	
韓国				3	3	3	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	
タイ											1	1	1	1	1	1				1	1		1	
ベトナム 他				2							1	1											1	1
合計	2	7	6	7	9	8	9	10	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	12	12	13

年度別 国別																					計			
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27		28	29	30
ブラジル	3	4	3	3	2	1	2		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	90
ポリビア	1			1	1	1			1				1	1		1		1						38
パラグアイ	1		1		1																			20
アルゼンチン	1	1	1	1		2		1			1													12
中国	6	7	7	7	7	7	8	9	6	7	6	6	5	5	4	4	6	5	3	2	2	2		172
韓国	3	3	4	2																				49
タイ		1	1	1	1	1	1	1																16
ベトナム 他	2	2	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	19
合計	17	18	18	16	13	12	13	12	8	9	8	8	7	7	6	6	7	7	6	4	4	4	2	425

わが国の移民の歴史は古くは1885年のハワイ官民移民から本格的な海外移住が始まりますが、この当時は永住ではなく数年間の出稼ぎ労働でした。

20世紀初めアメリカやカナダへの渡航が増えるなか、日本人の急激な増加が白人の「人種的恐怖心」を煽り日本人の移民を禁止したため、それに代わり北米以外の国が日本人移民を受け入れるようになり、そのなかでも特に**ブラジルが主要な渡航先**となりました。

1908年にブラジルへの最初の移民がなされ、長崎港は移民乗船港に指定され多くの移住者にとって長崎が母国最後の地でありました。本県からの移住は1912年から1990年頃まで続いています。

月日	発着/滞在地	現地時間	スケジュール	
7月18日 (水)	長崎	7:20	長崎空港集合(1階ANAカウンター前)	
		7:45	結団式	
	羽田	8:35	長崎空港発(NH662)	1h40m
		10:15	羽田空港着	
	フランクフルト	14:05	羽田空港発(LH717)	11h40m
		18:45	フランクフルト国際空港着	
21:55	フランクフルト国際空港発(LH510)	13h50m		
7月19日 (木)	フエノスアイレス	6:45	エセイサ空港着	
		8:45	ホテル着(小休憩)	
		10:30	ホテル発	
		11:00	★荒木園視察(ピセンテロベス市長と会見)	
		12:00	★レストランTao Tao(県人会員経営店)での昼食会	
		14:30	★在アルゼンチン日本大使館表敬訪問	
		15:00	市内視察(5月広場、大統領府、大聖堂、国会議事堂など)	
		18:30	★在アルゼンチン長崎県人会、元海外技術研修員との交流会	
		20:30	ホテル着	
		7月20日 (金)	フエノスアイレス サンパウロ	8:00
8:45	ホルヘニューベリー空港着			
10:55	ホルヘニューベリー空港発(AR1274)	2h45m		
13:40	グアルーリョス空港着			
15:30	★開拓先没者慰霊碑への献花			
16:30	★ブラジル日本移民史料館			
18:30	★在ブラジル長崎県人会、元海外技術研修員との懇談会			
20:30	ホテル着			
7月21日 (土)	サンパウロ	9:00	ホテル発	
		10:00	★110周年記念式典アトラクション(龍踊り)	
		12:00	★ブラジル日本移民110周年記念式典	
		13:30	★110周年記念祭典委員会・県人会連合会主催歓迎昼食会	
		15:30	★日本祭アトラクション(龍踊り)	
		16:00	★長崎県人会ブースで県人会婦人部と交歓、ちゃんぽんを試食	
		17:00	★会場視察	
		18:30	★県人会連合会主催歓迎夕食会	
		20:30	ホテル着	
7月22日 (日)	サンパウロ	8:00	ホテル発	
		8:40	★長崎会館視察	
		10:50	★高木醸造食品有限会社視察(県人会員経営)	
		11:40	★日本語学校視察(県人会員経営)	
		13:00	昼食	
		15:00	グアルーリョス空港着	
		18:15	グアルーリョス空港発(LH507)	11h30m
7月23日 (月)	フランクフルト	10:45	フランクフルト国際空港着	
			市内視察(ゲーテハウス、レーマー広場、市庁舎)	
		18:05	フランクフルト国際空港発(LH717)	11h10m
7月24日 (火)	羽田	12:15	羽田空港着	
		16:25	羽田空港発(NH667)	1h55m
	長崎	18:20	長崎空港着	

移住者の数は90年までに72,914人、うち長崎県は3,877人で、全国6位、人口比では沖縄県に次いで2位。

これは1960年頃北松の炭鉱離職者が大挙移住したことが主要因で国別ではブラジルが2,898人と圧倒的に多い人数となっています。ちなみにその後日本の経済成長に伴い、逆に日本に出稼ぎに来る現象となっています。

ブラジルでは「ブラジル移民開拓戦没者慰霊碑」に献花・参拝を行い隣地にある移民歴史資料館において前述のような内容のレクを受け、翌日、メイン行事である「ブラジル移民110周年記念式典」ならびに併設し開催されている「ジャパンフェスタ」に出席。県人会の方により式典では「龍踊り」の披露、フェスタでは「ちゃんぽん」の提供等が行われました。

その他、県人会が運営する「長崎会館」、県人会の方が経営する「漬物工場」やボランティアで行っている「日本人学校」の視察を行い帰路に就きました。

◆ブラジル県人会  
289家族(298人)

そもそも本県からそれだけ多くの方がブラジルに移民していたことも知らず、遠く離れた異国の地において必死に働き今をなし、子供達に家庭では日本語で会話し、ふるさと長崎の事を伝え、わが子ばかりではなく日本の伝統や文化を広め当地での交流を深めるとともに、子供の教育や青年の日本での留学や研修をバックアップする県人会の方々の献身的な活動に感激した今回の訪問であり「遠くて近い国」を実感したところです。

微力ながら私も国際交流、本県に来崎する研修生のサポートができればと思っており、早速今月末にブラジルから来る研修生と連絡先を交わしてきたところです。